

needs 他社と連携して受注機会を増やしたい

クラウド活用により、受注から納品までの各社・各工程の進捗状況・情報をリアルタイムで管理する「つながる町工場プロジェクト」を実施

会社名 : 株式会社今野製作所
事業内容 : 油圧機器事業、板金加工事業等
従業員数 : 36名
所在地 : 東京都足立区扇 1-22-4

【お問い合わせ先】

URL : <http://konno-s.co.jp/>

連絡先 : 03-3890-3406

担当者 : 代表取締役 今野浩好

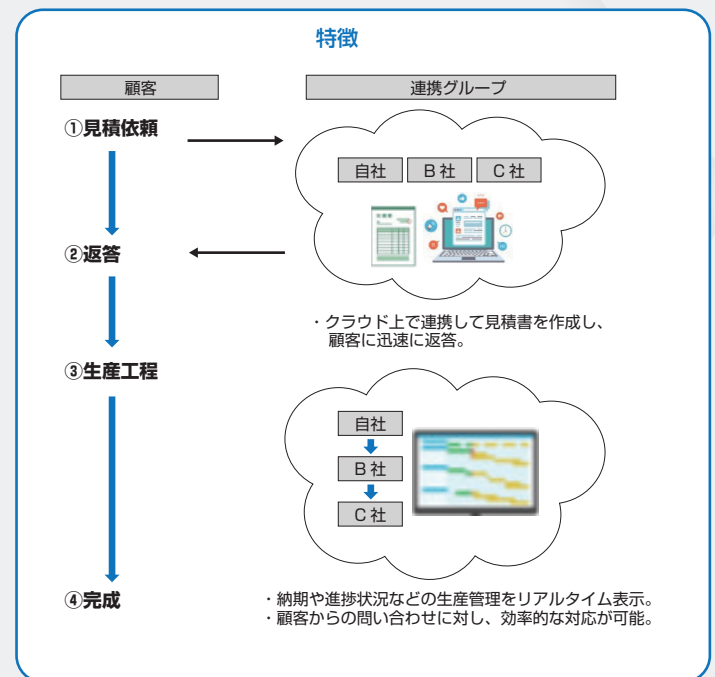
背景
・顧客からの受注依頼に対し、技術検討や見積もりを担当するキーマンの業務負荷が増大していた。
・保有設備や得意技術の点から、自社だけでは生産対応が困難な場合、受注を断らざるを得なかった。
→加工技術やノウハウ、設備の有効活用など、それぞれの企業が持つ現場の強みやリソースを連携し活用することで、顧客要望への対応力を高め、受注機会を増やすことができると考えた。

IoTを活用した課題解決の内容

同業種だが異分野の製品を扱う町工場3社が連携し、クラウド活用により、受注から生産、納品までの各社・各工程の進捗状況・情報をリアルタイムで共有・管理することで、各社のリソースを効果的にシェアし、迅速な対応を可能とする。

・検討・導入期間 : 2014年から1年間
機能拡充のため現在も開発継続
・開発者 : ITコーディネーターの指導を受けながら自社開発
・開発コスト : 非公開
※東京都中小企業振興公社の助成事業を活用(2014年)

課題	解決方法
<p>> 3社共通の課題</p> <p>1. 見積もりや工程管理などを担うキーマンに業務が集中し、ボトルネックになっている。</p> <p>2. 現場の生産管理が紙帳票やエクセルで行われており、進捗状況が社内でも共有できない。</p>	<p>> クラウド活用による連携受注の実施。</p> <p>・各社のノウハウを持ち寄り、顧客への技術提案の幅が広がり、対応も迅速に。</p> <p>・各社・各工程の進捗状況をリアルタイムで把握し、社内だけでなく、3社での共有が可能に。</p>



導入成果

- ・連携受注による新規受注件数：約20件 (2018年実績見込、2014年から年々向上)。
- ・連携受注案件の売上割合：約5% (2018年実績見込、2014年から年々向上)。

成功したポイント

- ・企業連携先(イー・アイ・エス社、西川製作所)や外部連携先(法政大学西岡教授)と密接なコミュニケーションを図ることで初期の停滞期(成果がない、現場へ活動目的が伝わらない)を乗り越え、活動を継続できたこと。
- ・企業連携を進めるにあたり、共同で溶接技術勉強会を実施する等、現場同士もコミュニケーションを図り、一体となって取り組んだこと。

今後の展開予定

- ・設計プロセスでの3DCADデータ連携、構造解析等のデジタル設計ツール等のリソースシェアで、技術対応力を向上。
- ・IoTを活用した溶接技能者の早期育成。ベテラン作業員の溶接作業の様子を複数のセンサーやカメラで記録し、データ化することで、経験や勘などのノウハウを、若手作業員に継承する。
- ・大田区、茅ヶ崎市、静岡県等、他地域の共同ものづくり組織との技術・情報交流の拡大。